

情報化推進事業
(情報化推進事業会計)

【事業の目的】

IT活用による中小企業の生産性向上や経営力強化を図るため、窓口相談から生産管理、受注管理等、企業ニーズに合った支援を行う。

中小企業の経営を支援するため、財団、国、県、関係団体からの支援施策情報を迅速かつ的確に提供する。

効率的な中小企業支援活動ができるよう、財団インフラ環境の最適化を推進するとともに、情報流出防止対策等セキュリティ対策を実施する。

【評価指標・実績】

業 務 指 標	平成25年度		
	目標値	実績値	達成率
ホームページ「よかネット長崎」による情報発信数 (更新回数)	430回／年以上	458回／年	107%
電子メールマガジン発信数	48件／年(毎週発行)	51件／年	106%
広報誌「広報サンテックス」による情報提供	2,300部 (年2回発行)	2,300部 (年2回発行)	100%

【事業の実施状況】

○平成25年度事業費 26,940千円
 (うち人件費 15,645千円)

施策項目	平成25年度実施内容
情報化相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業から寄せられたEメール、電話、面談による情報化相談への対応 ・ 県内企業の受注管理、工程管理に関する情報化について、業者とベンダーとの間に入り支援を実施(3件) ・ 自社HPを持たない企業に対し、作成・運営講習を実施し、営業ツールとしての活用を支援(5件) ・ 県内企業における情報流出事故防止策として、セキュリティ講座を実施(5回)

<p>「よかネット長崎」によるスピーディな情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の支援施策情報をホームページ上で日々提供 ・ 週刊メールマガジンにより、新規掲載情報を案内 ・ FAX マガジンにより、ピックアップ情報を案内
<p>財団内システム化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティ強化 業務に不必要なサイトへのアクセス制限を強化した。 ・ デバイス管理システム更改／統合 情報を持ち出すことができる媒体の接続を管理するシステムを更改し適切な運用を可能とした。 ・ サーバーの仮想化によるシステム統合 複数のサーバーコンピューターの機能を仮想化して集約することにより、サーバーの機能向上と台数減を図った。

【事業の成果】

- 「ホームページ作成支援」を行った5社の企業では、「ホームページを見てから」という問い合わせがあった。
- 「セキュリティ講座」は、実演を取り入れた内容で、受講した企業からもわかりやすく社員の意識向上につながったとの評価を得た。
- ホームページの内容の更新と合わせて、電子メールマガジン、FAXマガジンや携帯メールマガジンなど複数の媒体を利用した情報発信を実施。
- 情報インフラシステムのセキュリティ対策として、業務に不必要なサイトへのアクセス制限を強化した。
基幹システムについて、サーバーの仮想化による集約を行い、機能向上を図ったほか、台数を8台から5台に削減しコストも削減した。